

第30回日本緩和医療学会 交流集会 23

患者と医療者が慈しみ支え合うために マインドフルネスとコンパッションを どう役立てていますか？



日時：7月5日（土） 15:55～16:55

会場：第4会場(福岡国際会議場 5F 国際会議室501)

この交流会では、マインドフルネスやコンパッション、
禅、ヨガ等を実践している人、興味を持つ人々が集い、
緩和医療の中でケア・治療として、あるいはセルフケ
アにどう役立てているのか？課題や工夫は？自利利他
につなげ真の慈しみに役立たせるために何が必要か？語
り合います



話題提供

高宮 有介 氏 昭和大学**GRACE**とセルフケア

三原 弘 氏 札幌医科大学医療人育成センター：

Whole Person Care

川畑伸子氏 サイモントン療法協会/ハート
シェアリングネットワーク：ディックナット・ハ
ンとプラム・ヴィレッジについて

マインドフルネス体験＋話題提供＋
グループ対話を行います。

未経験者も大歓迎

【企画代表者】

笹良 剛史 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 全人的痛みセンター

【企画協力者】

土屋静馬 昭和医科大学国際交流センター

栗原 幸江 都立駒込病院/上智大学グリーンケア研究所/認定NPO法人マギーズ東京

高宮有介 昭和医科大学医学部/TMG（戸田中央メディカルケアグループ）

藤澤 大介 国立がん研究センター がん対策研究所 がん医療支援部

日吉 円順 天台宗業平山南蔵院/ 川口市立医療センター 緩和ケアチーム

鈴木 梢 東京都立駒込病院 緩和ケア科

山下 公子 一般社団法人Foster Compassion.lab

朴 順禮 慶應義塾大学看護医療学部 /マインドフルネス&ストレス研究センター/緩和ケアセンター

